


研究テーマ	電気分解・燃料電池システムの開発・性能評価		
担当教員・連絡先	荒木拓人		
実施期間	2018 年度春学期（4月～9月）	定員(最大 2 名):	2 名
テーマ概要:			
<p>今の学部生の皆さんは今の平均寿命からすると 60 年ほどはこの世界に生きることになるかと思います。その 60 年間、現在と同じペースで化石燃料を使用することはできるでしょうか？ 普通に考えると枯渇や気候変動の点から難しいですね。原子力もありますが、自然エネルギーの大量導入が必要だと考えます。ただ、自然エネルギーは一般に時間変動や地域の偏りが大きいので、大量導入するためにはエネルギーの貯蔵や輸送技術も同時に必要です。</p> <p>貯蔵技術として現状は揚水や二次電池などが一部用いられていますが、どちらも容量などに問題があり、水素などの燃料（化学エネルギー）としての貯蔵・輸送が必要だと当研究室では考えています。</p> <p>Route 生として志望した場合は、最初の 1 か月ほどは、現状の技術の問題点などを調べ、その後に研究室でいろいろ行っている実験や数値計算のなかから興味が生まれたテーマに取り組んでみてください。もし、最初から「これをやりたい！」というテーマがあればそれに取り組むことも歓迎です。</p>			
			
http://toyota.jp/mirai			
履修済みであることが望ましい科目: 特にありません。			
スキル: 特にありません。			
その他:			